



## 単位円上に頂点を持つ正多角形

本稿の動機は、次のような問題を考えることである。

次の値を求めよ。

$$\sin 10^\circ + \sin 82^\circ + \sin 154^\circ + \sin 226^\circ + \sin 298^\circ$$

[解答] .  $\theta = 72^\circ$  とすると,

$$\sin 82^\circ = \sin(10^\circ + \theta) \quad , \quad \sin 154^\circ = \sin(10^\circ + 2\theta),$$

$$\sin 226^\circ = \sin(10^\circ + 3\theta) \quad , \quad \sin 298^\circ = \sin(10^\circ + 4\theta)$$

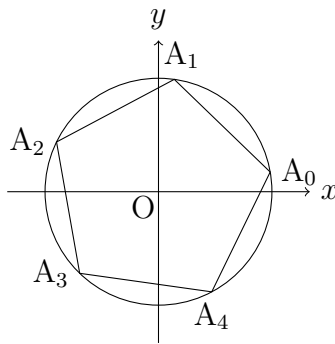
なので, 単位円上の5点を  $A_k$  ( $k = 0, 1, \dots, 4$ ) を

$$A_k (\cos(10^\circ + k\theta), \sin(10^\circ + k\theta))$$

と定めることで, 問題は,

単位円上に頂点を持つ正五角形  $A_0A_1A_2A_3A_4$  の頂点の  $y$  座標の和を求める

問題としてみるができる。



$k = 0, 1, \dots, 4$  に対して,

$$a_k = \cos(10^\circ + k\theta) + i \sin(10^\circ + k\theta)$$

とおき, 座標平面上の点  $A_k$  と複素数平面上の  $a_k$  を同一視する ( $i$  は虚数単位).

$c = \cos 10^\circ + i \sin 10^\circ$ ,  $a = \cos \theta + i \sin \theta$  とおくと,  $a_k = ca^k$  が成り立つので,

$$\sum_{k=0}^4 a_k = \sum_{k=0}^4 ca^k = c \sum_{k=0}^4 a^k = c(1 + a + a^2 + a^3 + a^4)$$

が成り立つ.  $a^5 = 1$  であることに注意すると,

$$c(a-1)(1+a+a^2+a^3+a^4) = c(a^5-1) = 0$$

であるが,  $a \neq 1$  なので,  $\sum_{k=0}^4 a_k = c(1+a+a^2+a^3+a^4) = 0$  がしたがう. 求める値は,  $\sum_{k=0}^4 a_k$  の虚部であったので, 答えは0である. □

補足. 上の問題では,  $\sin$  の5つの和を求めたが,  $\sin$  が  $\cos$  であっても同様に解答できることがわかる. また, 正五角形でなく, 次のように一般化できることも明らかである.

$$\sum_{k=0}^{n-1} \sin\left(\varphi + \frac{2k\pi}{n}\right) = \sum_{k=0}^{n-1} \cos\left(\varphi + \frac{2k\pi}{n}\right) = 0 \quad (0 \leq \varphi < 2\pi, n \in \mathbb{N})$$